

# 議会だより

- ・トピックス …… 2～3ページ
- ・一般質問 …… 7～11ページ
- ・監査報告 …… 4～5ページ
- ・各委員会報告 …… 12～17ページ
- ・質疑・討論 …… 6ページ
- ・出前報告会・編集後記 …… 18ページ



楽しみにしていた「さつまいも掘り」。あいにくの雨の為、青郷保育所の保護者の方々のみで決行となりました。

# 「中小事業所人材育成事業補助金」 500万円予算化



### 事業内容

原子力発電所運転停止に伴う厳しい雇用状況の元で、発電所関係の従業員、町内の中小事業所の従業員を対象に、事業主が教育訓練(資格取得、研修参加等)を行う場合の経費について支援するという制度で、教育訓練に要する経費は全額、教育訓練期間中の人件費についても基準賃金の5分の4を、事業主に対し補助金を交付し雇用維持と人材育成を図るものである。

### 補助金額

一事業主100万円を上限とする。(他の公的助成受領の場合は差し引く)

### 議会での質疑

- Q 原発関連事業所に限定されるのか。
- A 限定されない。町内中小事業所であればいい。
- Q 法人でないと該当しないのか。
- A 個人事業主でもよい。
- Q 旅館、民宿など送迎用バスの大型免許の取得費用は。
- A 適用できる。

中小事業所従業員の研修・  
資格取得を支援

# 経常収支比率102%に危機感を持って



### 決算審査とは

9月議会では決算を審査します。予算に沿った事業を行っているか、成果はあがっているか、税金のムダ使いはないかなど、300を超える事業毎に詳細な審査を行います。

### 経常収支比率に危機感を

平成24年度一般会計の経常収支比率は102%でした。

経常収支比率は、町が自由に使えるお金(町税などの自主財源)を分母

に、職員人件費や扶助費、借金返済のための公債費などを分子として出した数字です。

これが102%という事は、自主財源だけで経常的な経費の捻出できない硬直化した財政状況にあるといえます。

一般家庭に例えると、日々の生活費だけで給料以上のお金を使い果たしているため、将来の娘の結婚費用や家族旅行にまわせるお金が出せないといった状況です。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{職員人件費、扶助費、公債費など}}{\text{町税など町が自由に使えるお金}} = 102\%$$

これは原子力発電所の長期停止による法人町民税の減収が大きな原因ですが、過去3年間の推移を見ても決してあまり良い数字とはいえません。(70%~80%が適正值)

町としては行財政改革の取組方針を示していますので、議会としてもしっかりとチェックしていかなければなりません。

### 経常収支比率の推移

平成24年度	102.0%
平成23年度	93.1%
平成22年度	93.5%

平成24年度決算を審査  
賛成多数で認定

# 耐震性貯水槽の採用・ 構造材の一部に県産材を活用



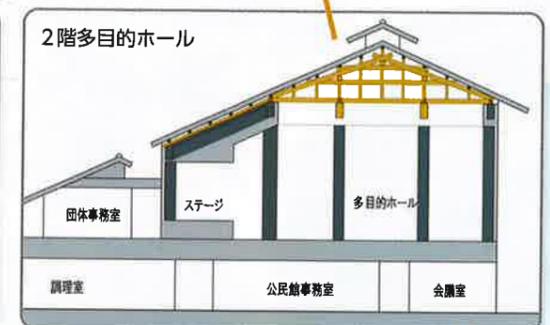
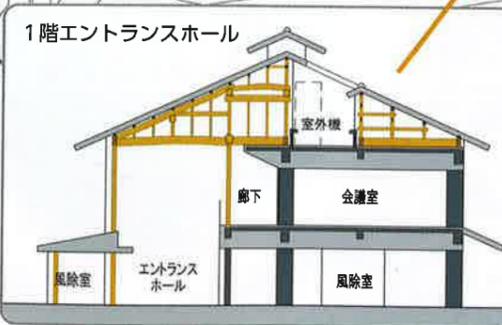
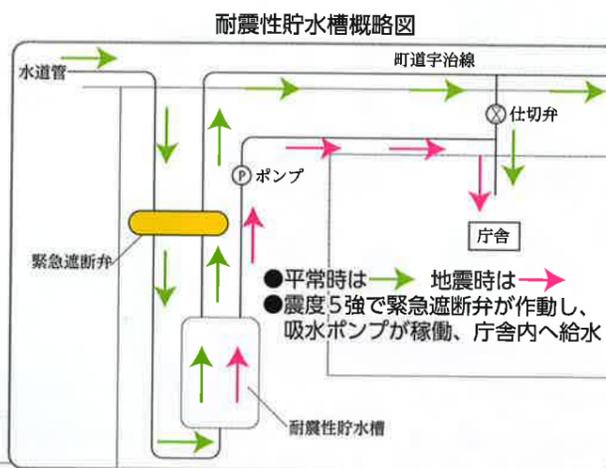
新庁舎・公民館  
基本設計最終案が示される

平成28年春に完成する新庁舎・公民館建設の基本設計最終案が示された。住民説明会やワークショップを通して多くの町民の方にご意見、ご提案を頂き検討してきた基本設計案である。

旧丹後街道沿いの町屋意匠を取入れながらも、随所に現代的な要素を織り交ぜて行く事で、今後の高浜町のまちづくりにおけるシンボルとなるようなデザインである。

防災対策では、有線放送・防災無線設備が更新時期であり新庁舎に移設され、耐震性貯水槽が新たに設置される。この貯水槽は、平常時は水道管路の一部として利用されるが、異常時には緊急遮断弁が自動的に作動して貯水槽への流入を遮断し貯水槽内の飲料水はポンプを使い供給するものである。

また補正予算が追加提案され、新庁舎・公民館建設に伴い、エントランスホール及び公民館多目的ホールの建設部分に、県産材を構造材として使用するため、木材の自然乾燥等の製造工程において一定の期間が必要となるため、建設工事着工前であるが、資材調達する予算が上程され可決した。



公民館県産材使用箇所図 (■色の部分)

代表監査委員 松本 有策  
監査委員 小幡 憲仁

■一般会計について

歳入総額は、81億3102万8311円であり、前年度比8.0%の減少である。

おもな要因は、個人町民税が対前年度比6.3%増となったが、町内主要企業の収益悪化で法人町民税が対前年度比66.7%減となったことと、大規模償却資産の償却が進み固定資産税が対前年度比5.1%減になったことなどである。

一般会計全体の収入未済額は2億4034万3497円であり、町税の収入未済額は4915万8859円、徴収率は対前年度比0.2ポイント減の98.3%であった。

税の徴収は、滞納整理機構の活用や、強制執行に取り組むなど、税負担の公平を保つ点から滞納整理に努力をお願いする。

歳出は、総額79億6126万8434円で、前年度比6.9%の

減少である。

農林水産業費でオールシーズン園芸モデル事業等の実施で歳出が57.6%増加した一方で、商工費、消防費、教育費で大型事業が終了したことによるものである。

2億1112万3000円の事業費を翌年度に繰り越し、歳出予算額の3.9%となる3億3048万7716円が不用額となり、執行率は93.6%で、前年度比2.3ポイント減少した。

実質収支額は前年度比46.2%減の1億2047万9397円であった。

各事業の優先度や費用対効果を精査し、効率的な予算執行を心がけていきたい。



運営に努められたい。

■公営企業会計について

国民宿舎事業特別会計は、長引く景気低迷や原発事故後の観光客減少の影響が続き、年間利用者数が1万2634人で、前年度比10.1%減少した。

営業収益は8360万4437円で、前年度比14.5%減少した。

営業費用は経費抑制に努めて9608万4706円となり、前年度比9.1%減少したが、営業損失は前年度比56.6%増加の1242万6616円の赤字となった。

一般会計から324万円補てん後、経常損失836万554円となった。

施設の老朽化で費用増加も見込まれ、城山荘単独での経営改善努力には限界がある。町として城山エリア再整備計画の中で、城山荘の方向性を早期に打ち出すことが必要である。

水道事業特別会計は、使用水量が前年度比5.6%減少の159万8372m<sup>3</sup>となった。

営業収益は1億8442万118円で、前年度比4.5%減少した。

営業費用が1億6064万6437円で、営業利益は対前年度比30.0%減少の2377万3681円となった。

営業外収益・費用・特別損失算入後の当年度純利益は対前年度比27.9%減の2683万8279円の黒字となった。給水人口の減少傾向と、水道事業開設から30年余経過し、設備の更新や耐震化の課題も山積しており、水道ビジョンに基づいた計画的な事業の実施と経営基盤の強化に努めていきたい。

■工事監査、行政監査について

平成24年度工事監査として、高浜小学校・高浜中学校プール改修工事、事代坂田線道路改良工事、オールシーズン園芸ハウス建設敷地造成工事について現地確認を実施し、適切十分な施工がなされていることを確認した。

また、行政監査として、出納室を中心に公金の取り扱いについて監査を行った。

現預金の取扱要領の一部について改善をお願いしたところである。

一般会計の決算額

A:平成24年度一般会計歳入総額(税収、交付金などの合計額)	81億3102万8311円
B:平成24年度一般会計歳出総額(町が支出した合計金額)	79億6126万8434円
C:形式収支(A-B)	1億6975万2397円
D:(工事の遅れなどの理由で)翌年度へ繰り越すべき財源	4927万3000円
E:実質収支(C-D) *Dの財源と合わせて翌年度へ繰り越す。	1億2047万9397円
F:単年度収支(E-前年度のEの額)	△1億349万76円
G:実質単年度収支(Fから貯金、借金の加減を調整した額)	△2億5349万76円

特別会計(公営企業会計を除く)について

特別会計(9会計)の決算は、歳入総額35億2611万9538円、歳出総額34億8940万1668円で、前年度比、歳入で3.6%減、歳出で4.4%減となった。

■まとめ

平成24年度は町税収入が約4億円減収となり、自主財源比率が前年度比5.5ポイント低下し51.9%となった。

町の財政力を示す指標である財政力指数は、3カ年平均で0.976となった。他の地方公共団体と比べまだ高い数値であるが、町の財政力が低下傾向にある。

財政の自由度を示す経常収支比率も、今年度は102.0%となり、余剰財源が乏しく硬直化した状態にある。

町税の大幅な減少によるものであるが憂慮すべき数字である。人件費や扶助費、公共施設の維持管理費用などで更なる効率化が必要である。

財政の健全性を示す財政健全化判断比率については、問題のない数値であるが、新規事業財源として新たな借り入れも必要であり、実質公債費比率などの推移に細心の注意をお願いする。

国のエネルギー政策の先行きが不透明で、町の基幹産業である原子力発電所の稼働停止が長期化し、地域経済の冷え込みや町の財政に

特別会計全体の執行率は96.2%で前年度比0.8ポイントの減少となった。

国民健康保険税や介護保険料等の収入未済額の合計は5286万2049円であり、一般会計と同様、滞納整理に努力をお願いしたい。

介護保険特別会計では、保険料改定で歳入増加があったが、特別養護老人ホームの増床などで歳出も増加した。

高齢化に伴う介護給付費の増加を見据え健全な運営を継続されたい。

宅地分譲事業特別会計では坂田グリーンタウンの分譲は、昨年度同様、販売実績がなかった。民間手法の導入で、早期完売に取り組まれたい。

財政調整基金など基金の合計額は、2億3835万円増加し、58億5483万2000円となった。

基金の一部を国債で運用していることを確認した。

与える影響が顕在化しつつある。

このように現在の高浜町が非常に不安定で困難な状況にあることを踏まえると、今後の町財政運営に楽観論は禁物である。保守的な予測に立ち、今後の国のエネルギー政策の方向が高浜町の財政面で悪いシナリオに振れたとしても、将来的に持続可能な財政運営に体質改善していくことが必要である。

高浜町では現在、役場庁舎・公民館の建設をはじめとするコンパクトシティー関連の大型事業を進めているが、既存資源(建物・土地)の有効活用と機能集約によりコストを削減し、将来の持続可能なまちづくりにつながる事業に限定して実施すべきである。

将来展望を描くことが難しい困難な時代ではあるが、行政組織の一層の体質強化を図るとともに適正な中期の財政運営計画を確立して、将来不安を少しでも払拭していただくことを期待する。

# 本会議での質疑・討論

## 質疑

議案第52号

平成25年度高浜町一般会計補正予算(第2号)

### 磯部武史議員

プレミアム商品券は好評で、一ヶ月で完売したが、この商品券を今年度再度販売するため追加補正する考えはないのか。

### 町長

効果は高いと認識している。この商品券は、商工会で販売している。来年度の販売要望があったが、商工会と連携し検討する。

## 討論

議案第52号

平成25年度高浜町一般会計補正予算(第2号)

### 反対討論

渡辺 孝議員

認めるところは多くあるが、新庁舎・公民館建設予算が計上されている。私はまだ建設計画を行う時期ではない立場から反対する。

### 賛成討論

栗野明雄議員

新庁舎・公民館建設は議会で

決定している。今補正予算は今後の地域経済を支える予算が多数盛り込まれている。今補正予算は重要であると認識している。賛成とする。

【賛成多数で可決】

## 討論

陳情第2号

年金2.5%の削減中止を求める陳情

### 賛成討論

渡辺 孝議員

政府は物価が下がっていると言っているが、生活物資は上がっている。この時期に年金を下げる事は反対である。陳情を採択する。

### 反対討論

山本富夫議員

デフレ不況の中で現在の年金を維持することは厳しくこの削減案が示された。物価スライド制が示されている為、今回の削減は致し方ない。

【賛成少数で不採択】

## 討論

陳情第9号

道州制導入に反対する意見書について

### 反対討論

小幡憲仁議員

今後日本は人口減少による過疎化と、都市部の人口集中が進む。町村は合併による一層の規模拡大が求められ、現行の47都道府県体制を維持していくことは現実的ではない。従って道州制の議論を排除すべきではなく意見書提出には反対。

### 反対討論

勝本繁昭議員

今後の課題として見送るべきであると考え反対する。

### 反対討論

磯部武史議員

道州制導入後の国の具体的な形が見えない中で判断出来ない。継続して国の具体的な形を見て判断したいので反対とする。

### 賛成討論

渡辺 孝議員

自分たちの町は自分たちで守り運営して行く事が地方自治の本旨であり道州制を導入すると範囲が広くなり村部は過疎化する。一定

の区域を確保しなければならぬし地域経済の発展がなくなる。

### 賛成討論

山本富夫議員

町村合併をした自治体に聞くと結果良かったとあまり言わない住民を置き去りにされるケースが多いと感じる。今の段階では賛成する。

【賛成多数で採択】

## 討論

認定第1号

平成24年度高浜町一般会計歳入歳出決算認定

### 反対討論

渡辺 孝議員

原発関連の交付金が歳入の5割強を占め財政は不安定、不健全である。新庁舎建設事業と同和対策事業はやめるべきであり反対する。

### 賛成討論

磯部武史議員

石川県志賀町との姉妹都市交流事業で交流の原点である漁業交流が20年間一度もない。25年度は再会して欲しい。また夏季の城山公園管理体制も抜本的な改善を要望して賛成する。

【賛成多数で認定】

## 城山公園の管理について

答弁 関係機関と連携した夜間の警備を検討

磯部 武史議員



### 【磯部】

数年前から城山公園内で、禁止されているキャンプを行う者がある。特に外国人による違反行為が目立つ。

本年度は警備体制の強化を行うたにもかかわらず状況は悪化した。禁止行為は一切許さないといった、抜本的な対策が必要ではないか。

### 【まちづくり課長心得】

「公園管理」方法については、主に清掃管理作業をシルバー人材センターに。夏季期間については、パーベキューやキャンプ対策として警備会社に依頼している。

本年度は、さらに夕方5時から7時までキャンプ利用の禁止に努めたが、日本語がわからないと無視を続ける状況であった。

今後の対応策については、公園再整備計画の中でも、公園利用のルール、公園へのアプローチ、駐車場の利用方法、夜間の警備、警察を含めた関係機関との連携など多くの検討課題がある。

地域の方々の意見も聞きながら検討していく。

### 【磯部】

公園へのアプローチ改善については事代区との係わりが大きいので、丁寧な説明を行い十分な理解を得たうえで実施していただくこと。

また、景観保全につきましては、明鏡洞や史跡、文化財などの保全、遊歩道法面や大木の保全についてすぐにでも取り組んでいただきたい。

来年からは一切キャンプは許さないといった抜本的な管理体制を。

### 【まちづくり課長心得】

歩きやすい遊歩道、展望台の補修など国交省の補助金を活用して実施していく予定である。

## 行政改革についての改革について

答弁 第4次行政改革推進期間と位置づける

横田 則孝議員



### 【横田】

景気低迷と財政の硬直化で高浜町を取り巻く環境は厳しいものがある。今こそ、思い切った行政改革を進めるべきである。既存事業の見直し、廃止、統合による資源を再配分する「行財政改革」、行政課題に適した組織編制を行う「機構改革」、窓口サービスの向上と役場職員のコミュニケーションスキルの向上を目指す「意識改革」を問う。

### 【町長】

高浜町は転換点を迎えている。新しい庁舎が完成する平成28年春までを第4次行政改革推進期間と位置づけ、行財政改革として、事業の段階的廃止や、類似事業また、公共施設の統廃合により行政資源の再配分を行う。機構改革は、徹底した住民目線に立った窓口サービスの集約・一元化を目指す。

職員の意識改革は、町民の皆さんと信頼関係を強く築くことが、大切と考えている。これから行政改革に取り組みたい。



## 国道27号線沿いの歩道整備工事と付近町道の安全対策について

横田 則孝議員

### ◆国道27号線沿いの歩道整備工事と付近町道の安全対策について

### 【横田】

国道27号線沿いの日置交差点と高野口交差点の歩道拡幅整備が早急に必要と考える。この箇所は、児童、生徒の通学歩道として利用されているが歩道幅が極めて狭く、大変危険が伴う箇所である。また、町道温井新線は、青郷駅前交差点、青郷郵便局より青郷小学校までの出合区内の道路であります。道路幅が狭く、車輛の通行も多く大変危険な状況であるため早急に安全帯のラインを引くなどの安全対策が必要と考えるが対応を問う。

### 【建設整備課長】

高野口交差点については、実施設計も終わり、JR協議も終え、用地測量の準備に入っている。早期着手に向け引き続き要望していく。町道温井新線(出合地籍)の安全対策は発注し9月末までには完了予定である。



### 青葉山麓研究所設立の目的は

答弁 「薬草」等の産業活用が  
可能か検証していく考え

山本 富夫 議員

【山本】 使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律が平成25年4月1日から施行されたが、高浜町において法施行に伴ってどのような対応がされているのか。

【住民課長】 各家庭から出た小型電子機器を含む家庭電化製品等は、清掃センターへ、黄色のゴミ袋で不燃物として収集し、リサイクルセンターにおいて手選別で分解し、できる限りの再資源化を図っている。

回収方法をどうしていくのか、製品の個人情報保護対策、分別方法、保管場所の確保。この事業は、認定事業者がいかに効率よく多くの小型家電を回収、資源化できるかが重要であり、町独自で計画を検討していくよりも、収集や分別、保管、引渡し等、広域的に取り組みを検討していく方が、より効率的であると考えている。

### 「七年祭り観光振興・地域活性化事業」成果と課題は

答弁 高い評価のもと祭りの魅力を再認識した

上尾 徳郎 議員

【上尾】 「高浜町文化遺産保存活用協議会」を立ち上げたり、様々な取り組みをされたがその成果と課題は。祭り後の「協議会」の取り組みは。

【副町長】

文化庁の支援を受け「協議会」で検討を重ねて、広報活動・継承事業を地域活性化に繋がるように推進した。前回をより上回る多くの来訪者があり、中町旧塩屋や広場ステージの活用で商店街賑わい再生のイメージも出来た様に思う。

来訪者に対して、メイン会場の観覧スペースや祭り全体のスケジューリング管理には課題が残ったが、街中での奉納を見て頂くことで地域の方々の交流により、まちなか再生の波及効果が期待される。

【上尾】 今後は、制作した教材を活用し地域コミュニティづくりを計画しまた、町内文化財を「文化遺産」として保存・伝承の地道な検討活動する。



### 産業団地をつくれ

答弁 調査から始める

粟野 明雄 議員

【粟野】 福井県では、特別経済対策産業団地整備基金を作り、立地の市町に負担をかけずに産業団地を造成しようとしている。

高浜町は、原子力産業以外の産業を構築することは非常に重要である。西川知事は嶺南の産業育成に力を入れている。

雇用を生み出すチャンスであるので、取り組むべきと考える。企業誘致は、土地を準備して行動しなければ、成功しない。

【副町長】

この流れにうまく乗りたい。まず、計画から始めたい。専門家の派遣を受けながら誘致活動へつなげていきたい。この資金で調査をしたい。

◆国道の右折信号について

【粟野】

和田駅前と青郷の位置差点には、右折信号がついている。高浜駅前にもつけるべきだと考える。

【建設整備課長】

【山本】

青葉山麓研究所設立準備会の設立に至った経過と今後における青葉山麓周辺の有効な資源をまちの活性化に生かす目的とはどのようなものか。

【町長】

産業振興が先行してしまうと環境破壊につながる恐れがあるので、青葉山麓研究所の取り組みは、まず「自然環境保全」について、今後どのような仕組みと体制で、さらにはどのような理念で取り組んでいくのかを意見交換していきたい。今後の方針づくりを構築する。地域の関係者の方々と協議・連携し、自然環境保全スキームのベ이스の上で、「薬草」など、どのような産業活用が可能なか検証していく流れで考えていく。



和田駅前交差点については、夏期シーズンにおける海水浴客の、小浜方面からの右折が多く、渋滞が発生していること。日置交差点については、高浜発電所への通勤時に交通渋滞が発生することから設置している。

駅前交差点については、庁舎移転に伴う周辺道路整備計画の中で設置を要望していく。

◆計画実現に必要なものは何か

【粟野】

まちづくりは、夢を描き、計画し、実行に移していく。しかし、その成果は思ったようには現れない。実現するには何が必要なのか問う。

【副町長】

中核となる人、リーダーシップがまず必要、そして計画の熟度が要る。「人」人を支える組織「計画」に対する共感性」ということだが、当町ではまだまだ不足している。



### 「七年祭り観光振興・地域活性化事業」成果と課題は

答弁 高い評価のもと祭りの魅力を再認識した

上尾 徳郎 議員

【上尾】 「高浜町文化遺産保存活用協議会」を立ち上げたり、様々な取り組みをされたがその成果と課題は。祭り後の「協議会」の取り組みは。

【副町長】

文化庁の支援を受け「協議会」で検討を重ねて、広報活動・継承事業を地域活性化に繋がるように推進した。前回をより上回る多くの来訪者があり、中町旧塩屋や広場ステージの活用で商店街賑わい再生のイメージも出来た様に思う。

来訪者に対して、メイン会場の観覧スペースや祭り全体のスケジューリング管理には課題が残ったが、街中での奉納を見て頂くことで地域の方々の交流により、まちなか再生の波及効果が期待される。

【上尾】 今後は、制作した教材を活用し地域コミュニティづくりを計画しまた、町内文化財を「文化遺産」として保存・伝承の地道な検討活動する。

### 女性管理職の占める割合を数値目標で

答弁

数値目標を掲げるのではなく  
機会と経験を踏める環境を創りたい

大塚 ひとみ 議員

【大塚】

あらゆる分野で女性の社会進出が進んでいる。自民党も社会のあらゆる分野で2020年までに指導的地位の女性が占める割合を30%以上にする公約している。

高浜町でも一般職で初の女性管理職が誕生したが、県職員の割合、県内全市町での割合に比べてまだまだ低いレベルにあるが、今後何年以内に女性管理職の割合を何%にするという、具体的な数値目標を掲げるべきではないか。

【副町長】

管理職になるためには、従来からの「福井県町村職員統一昇任試験」や「人事評価制度」の結果が重要であり、具体的な数値目標を掲げるよりも、女性、男性の区別なく、自らスキルアップのための研修を受講する等知識の蓄積、経験の積み重ねが必要である。

◆庁舎・公民館実施設計について  
【上尾】 実施設計に入っていくが、町民の関心が低い様に感じる①基本設計案や実施設計検討の経過報告など周知の方策は②新庁舎に伴う機構再編の計画と設計への反映は。  
【副町長】 ①町民へは、一定の情報は伝わっていると思う。有志による自発的取り組みも生まれ、活動イメージが具体的にになり実施設計に反映されるよう適時広報する。②機構改革は検討中。執務面積の確保は部門による配置計画とする。再編可能な部門からは実行していきたい。

【上尾】

高浜公民館の運営と館長の選出方法・設置時期は。

【教育長】

完成まで現行条例で対応する。館長は地区区長会からの推薦として、区長会有志などによる運営協議会的な組織による公民館活動を期待している。

◆和田公民館の建て替えの進捗状況は

【大塚】

和田公民館は開館より36年が経過し、雨漏りなどを含め建物全体の老朽化がいたるところで見られ、加えて耐震性への不安、津波発生時や災害時の避難場所としての不安も感じざるを得ない。

1日も早い建て替えを望むところであるが現在の進捗状況は。また、地区民や利用者を対象にした説明会やワークショップの開催予定はあるのか。

【教育委員会事務局長】

平成24年度には建て替えの財源として基金を積み足し、今年度は公民館用地の不動産鑑定は終了した。現在、用地取得交渉と基本設計の準備を進めているところであり、来年度には実施設計を、平成27年度には建設に着手したいと計画している。

また、和田地区委員会にて要望を集約していただきたい。



### 馬居寺河川の改修は

答弁 上流部より順次実施

勝本 繁昭議員

【勝本】  
馬居寺河川改修計画の進捗は。

【建設整備課長】

河川改良に伴う測量、地質調査及び設計業務を実施し、用地測量業務を行い、本年度は河川改良に伴う迂回路設置工事及び、上下水道管の移設工事を実施予定、民家が集中している上流部より、順次実施の計画で進めていく。

◆介護保険の要支援除外は

【勝本】

介護保険「要支援1・2」の制度を当町はどのような考えか。

【福祉課長】

現段階では、詳細が未確定な状況で、当町においても、今後、国等の関係機関の状況を踏まえて検討を進めていく。

◆高浜町の観光振興は

【勝本】

①教育旅行の誘致に向けた、教育委員会との連携。②マリンスポーツ客の誘致に向けた漁業協同組合の協力。③視察旅行の誘致に向けた行政や議会の連携。④高浜で育ったことがブランドとなる学校教育の推進。

ツ客の誘致に向けた漁業協同組合の協力。③視察旅行の誘致に向けた行政や議会の連携。④高浜で育ったことがブランドとなる学校教育の推進。

【まちづくり課長心得】

①教育委員会や観光協会、水難救助委員会、ライフセイビングクラブなどと連携しながら誘客に取り組んでいく。

②漁業協同組合、漁業関係者など関係機関と協議を重ねながら、観光と漁業、そして食にも繋がる産業として取り組みたい。

【政策推進室長】

③視察受入れを推進するため町の先進的な取り組みを積極的に発信していく。

【教育長】

④課題解決的な学習の重要性は十分に理解している、これらを実現するには、地域全体で学校を支援する体制の構築が重要であると認識している。



### 自衛隊の誘致について

渡辺 孝議員

【渡辺】

嶺南6市町の首長が連携して陸上自衛隊の誘致をめざしている。原子力発電所警護が目的というが、自衛隊の第一任務は住民の避難誘導ではない。自衛隊が駐屯すれば逆に攻撃の標的にされる。誘致はすべきではない。

【町長】

原子力発電所に対するテロ行為、外国からの軍事脅威に対する防衛体制、原子力災害への迅速な対応のために自衛隊の配備を、嶺南6市町として県を通して国に働きかけていく。

◆中学校生徒の自衛隊職場体験について

【渡辺】

高浜中学校の生徒を自衛隊で職場体験させているが、自衛隊は憲法違反の軍隊であり、学校教育上たいへん問題である。中止すべきである。

【教育長】

中学生の職場体験は、生徒の希望職種を基本に体験先を決めている。今回の自衛隊は、高浜中学校よりの要望があり教育委員会として認めた。今後も学校からの要望があれば自衛隊での職場体験を継続する。

◆し尿くみ取り料金について

【渡辺】

高浜町の一般廃棄物処理事業は、委託業者の急な変更によって、過渡的な状況が続いている。そうした中、し尿くみ取り料金が従来より高いという苦情がでている。業者に徴収料金をどのように指導しているのか。

【住民課長】

5月から、業者側の都合によりごみ収集業者を変更した。くみ取り料金は、新業者には1リットル当たり9.5円以内で徴収することで許可している。周辺市町の状況も確認しながら、過度の値上げにならないよう、また、サービス低下を招かぬよう指導、監視をしていく。



### 行政改革を進める上で高浜町の重点課題をどう認識しているか

答弁

生産年齢人口の減少に歯止めをかけること認識している

小幡 憲仁議員

◆行政改革について

【小幡】

6月議会において町長は今後、行政改革に取り組む決意を示した。行政改革の取り組み方針と、町の重点課題に対する認識を問う。

【町長】

平成28年春まで第4次行政改革推進期間と位置付け、行財政・機構・意識の3つの改革に取り組む。町の重点課題は生産年齢人口減少に対する対応、エネルギー政策の不透明感による産業構造の変化がある。これら課題の対応として、子育て環境充実による子育て世代の定住化、地域資源再評価による産業活性化と企業誘致に取り組む。

◆子ども・子育て支援新制度への対応

【小幡】

昨年8月、子ども・子育て関連法の成立で同法に基づく子育て支援新制度がスタートする。町として新制度にどう対応するのか。

【保健課長】

法律では平成27年4月から新制度がスタートする。町としても政府方針に基づき、子ども・子育て支援事業計画を策定するため、計画策定に向けた審議会を今年度中に立ち上げる。今年度はニーズ調査を行い、平成26年度から審議会ですべての子育て支援事業計画の策定に取り組み、新たな子ども子育て支援事業の導入に取り組む。

◆公共施設の休館日の見直し

【小幡】

公共施設の休館日が月曜日に集中している。各施設の休館日をずらすことや、無くすことにより、住民サービス向上に取り組むべき。

【教育委員会事務局長】

休館日の集中を避けることは各施設の連携や町民の周知面から慎重に考えたい。休館日をなくすことは現状管理体制では難しい。今後、第4次行政改革の中で検討する。



### 高齢者の安全・安心の確保を

答弁

行政と民間活用も含め対策を模索する

西出 秀雄議員

【西出】

少子高齢化や、人口減少が進む中、買い物に不便を感じる高齢者が多く増加している。オンデマンドバスの利用や、社協による弁当の配達等が行われているが、買物支援センターの開設による買物支援、また、民間事業者、福祉関係との連携に入れての考えは？。

【福祉課長】

買物弱者となる要因は、地理や交通機関の状況、支援者の状況、本人の身体状況が挙げられる。オンデマンドバスや社協による軽度生活支援事業や食支援サービスを実施、介護保険制度や障害福祉制度で対応。今後必要に応じ民間活用も含め対策を模索する。

◆町職員による見守り隊の設置について

【西出】

独居高齢者の孤独死が全国で相次いでいる。区長、民生委員による訪問活動が行われている。見守

り隊が加わることで、健康面や生活の状況、防犯にもよい設置の考えは。

【副町長】

町職員による見守り隊を組織化まで至っていないが、安全安心の確保に向けて、積極的に関わっていくよう周知徹底を図る。

◆空き家条例について

【西出】

町民から老朽化して倒壊などの危険性がある空き家の指導や勧告改善命令が出せる条例を設置の考えは。

【建設整備課長】

空き家調査を行い、354戸の日常的な利用が無い家屋として把握。所有者に対し聞き取り調査を行い実態を把握する予定。空き家対策の協議会を立ち上げ検討する。

予算決算常任委員会

委員長 山本 富夫

議案第52号  
平成25年度高浜町一般会計  
補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ2億5976万円を追加し、歳入歳出総額は8億6132万9千円。

【審議(質疑)の概要】

企業誘致事業について

本年度は地域立地振興センターより専門員を3回派遣してもらい、研修を受け来年度には町内で候補地を選定し計画的に進める。

森林作業路開設事業補助金300万円について

六路谷林道整備事業であるが、今回は県との新しい取り組みモデル事業である。今後は、県と計画づくりを進めて行きたい。

住宅改修費補助金の利用条件を観光振興や営業事業に拡大できないか

現在、条件拡大を考えているが、

一般の修繕申込み者が多いため、こちらの方を優先させたい。

人材育成事業補助金500万円についてこのよう育成補助金なのか

事業目的は、雇用維持と失業対策で、発電所の停止により町内業者は企業ヒヤリングの結果、見ても大きな影響を受けているため、国や県の補助金制度ではなく町単独での事業として利用しやすいように全産業対象に従業員の資格取得、教育費などに補助し、あまり条件を付けていない補助金である。

若狭消防署高浜分署気象観測装置改修事業829万9千円について

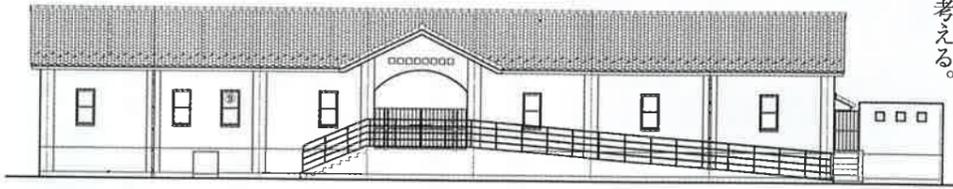
施設の老朽化により新しく整備する。気象庁との連携を図るため、新たに雨量計などの観測機を設置し又、気象システムネットワークを充実させ各課で情報を共有させる改修事業である。

地域振興事業500万円について

青葉山の環境保全・教育と産業振興を推進するために青葉山麓研究所を設立し観光栗草園マスタープラン策定業務委託し地場産業の

和田小学校プールのデザインが地中海風である。町内の施設デザインを統一すべきではないか

プールは現況の和田地区に合ったデザインと考えており、町内全体としては今後、統一されたデザインが必要と考える。



和田小学校プール管理棟のデザイン

平成30年の福井国体に向けて中学生や小学生への遠征費を増やしてはどうか

今後、ジュニア世代の育成強化費や会場の整備に力を入れていく考えである。



和田小学校に掲げられた幕

内浦小中学校において学校ICT推進モデル校としてタブレットを購入されたが効果はどうか



タブレットを用いた授業風景

利活用拡大を図りたい考えである。

これらの新規事業を含め慎重審議の結果、新庁舎公民館実施設計業務についての反対討論が出された。

【賛成多数で可決】

認定第1号  
平成24年度高浜町一般会計  
歳入歳出決算認定

平成24年度の一般会計は、歳入総額81億3102万831円で8.0%減、歳出総額は79億6126万8434円で同6.9%減で翌年度に繰り越すべき財源4927万3千円を差引いた実質収支額は1億2047万9397円の黒字となった。

歳入は町税が32億8224万9295円対前年11.1%減で4億915万3035円の減少で個人税収は増加したが、原発関連の企業収益悪化で前年より2億9684万2959円の減少となった。

固定資産税は、25億2791万714円で大規模償却資産の償却等により前年度より1億3490

小学校へ17台、中学校へ5台、教員へ3台整備し電子黒板とつないで授業を行い大変充実した内容になった。今後は、高額な教材である為、予算に合わせて順次、整備を進めたい考えである。

【総括質疑】

町の主力地場産業である原子力発電再稼働が不透明な状況下で、将来的には新たな企業誘致も視野に入れた施策も必要である。今後予定される、福井国体や、東京オリンピック招致決定を機に高浜町でも誘客を含めた受け入れ態勢を構築すべき意見も出された、また、来年度着工予定の新庁舎建設等の大型予算が組み込まれることもあり財政規律も含めた平成26年度予算度予算編成には、十分な配慮がなされるよう委員からの意見が出た。

慎重審議の結果、討論で反対の意見が出された。

【賛成多数で認定】

万174円減少であった。

歳出では、継続事業であった防災行政無線設備整備工事や、青葉ふれあいドーム新築工事等の終了で減額となった。また、人件費や扶助費をはじめ、各町有施設の維持管理に要する物件費等の経常経費の割合も高く財政構造の比率も高く、効率的な行政運営と中長期的な財政計画で健全な財政運営を進めていく考えも示された。

【審議(質疑)の概要】

青葉山青少年旅行村をもう少し整備し利用しやすい施設に改修してはどうか

利用者数が減少してきている中今後はまちづくり課と連携して改修工事を進めたい考えである。



青葉山青少年旅行村

平成24年度中に完成した主な施設



中央体育館施設擁壁改修工事



オールシーズン園芸ハウス



せせらぎランド し尿受け入れ施設

総務産業常任委員会

委員長 栗野 明雄

議案第56号

平成25年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算

【全員賛成で可決】

議案第57号

平成25年度高浜町宅地分譲事業特別会計補正予算

【全員賛成で可決】



分譲中の坂田グリーンタウン

議案第58号

原子力防災施設改修工事請負契約

【全員賛成で可決】



原子力防災施設に改修する、旧音海小中学校

認定第6号

平成24年度高浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

認定第7号

平成24年度高浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

認定第8号

平成24年度高浜町集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

認定第9号

平成24年度高浜町公有水面埋め立て事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

認定第10号

平成24年度高浜町宅地分譲事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

認定第11号

平成24年度高浜町国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

認定第12号

平成24年度高浜町水道事業特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で認定】

陳情第5号

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書採択」に関する陳情 石油石炭税の上乗せは決定しているので森林対策に使われるのは良いことであるとの意見が出された。

【全員賛成で採択】

陳情第6号

地方財政の充実・強化を求める意見書採択

【全員賛成で採択】

陳情第7号

「子ども被災者支援法」の実施を政府に求める意見書の提出と自治体としての支援策の実施を求める陳情

表題は問題がないように書いてあるが中身は一方的に廃炉を求め、事実を反することが含まれているとの意見が出された。

【賛成者はなく不採択】

陳情第8号

「住民の安全の保障が得られるまで原発の再稼働を容認できない」自治体決議を求める陳情

【賛成者はなく不採択】

陳情第9号

道州制導入に反対する意見書について  
今の段階では賛同すべきではない。今後の日本のかたちを考えると断固反対ということには反対であるなどの意見が出された。

【賛成多数で採択】

厚生文教常任委員会

委員長 上尾 徳郎

陳情第2号

年金25%の削減を求める陳情

【賛成少数で不採択】

議案第53号

平成25年度高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)

介護納付金について

社会保険診療報酬支払基金からの25年度確定額の差額を計上。

【全員賛成で原案可決】

議案第54号

平成25年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

【全員賛成で原案可決】

議案第55号

平成25年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第1号)

【全員賛成で原案可決】



認定第2号

平成24年度高浜町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

滞納者の被保険者証交付状況は

8月30日現在で資格証明書が15世帯23名、新しく資格証明書になるのが4世帯4名、短期被保険者証の1ヶ月39世帯79名、3ヶ月35世帯67名、6ヶ月5世帯14名、合計98世帯79名。

ジェネリック医薬品の普及や処方方の現状は

保険証更新時に希望カードを同封し普及に努めている。  
医師の後発医薬品への考え方や患者や他の業との関係など考慮し医師の判断にて使用されている。

医療費の急激な高騰に備えて必要な基金を取り崩して保険税の引き下げが出来ないか

単年度でみると基金取り崩しが必要なこともある。年によって状況は違う。全国や近隣他市町と比べても保健税は高いとは言えず引き下げの考えはない。被用者保険と年齢構成を比べると国保は高齢者の比率が高い。今後、近隣他市町の状況の推移や、国保が抱える

状況を考慮して対応していく。  
【全員賛成で原案認定】  
認定第3号  
平成24年度高浜町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定

診療所の患者数と診療状況は

診療所患者数(H24年度)

診療月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計	
患者総数	850	813	833	877	856	759	890	1,354	1,000	761	754	843	10,590	
内訳	和田診療所	801	763	796	825	823	711	846	1,279	938	716	720	793	10,011
	(内) 往診・訪問診療等	(63)	(46)	(47)	(56)	(49)	(47)	(53)	(44)	(55)	(53)	(59)	(616)	
	内浦診療所	11	7		5		2	7	7		6		7	52
	巡回・看護診療等	38	43	37	47	33	46	37	68	62	39	34	43	527

認定第4号

平成24年度高浜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

【全員賛成で原案認定】

認定第5号

平成24年度高浜町介護保険特別会計歳入歳出決算認定

特定入所者介護サービス費給付事業の補正給付を町独自の補助で出来ないか

介護給付は全国制度に則り、高浜独自では決めていないが時間をいただき考えたい。町としては予防に力を入れた施策を取っている。

【全員賛成で原案認定】

請願第1号

子供・子育て支援制度の見直しを求める意見書掲出を求める請願

【継続審査】

### 原子力対策特別委員会

委員長 大塚ひとみ

原子力発電所の長期運転停止による経済的影響について

若狭高浜観光協会 大角一馬会長、高浜町商工会 中嶋基貴会長を招き、高浜町の現状についてお聞きした。また、政策推進室より「高浜町 経済情勢と産業政策について」資料をもとに現状説明、まちづくり課よりセーフティネット(緊急対策・激変緩和)の支援政策、産業政策の取り組み状況について説明を受け、その後意見交換を行った。

#### 若狭高浜観光協会会長

◎原子力関連の消費額は、遊興費、飲食費などすべてにおいて相当額激減している。宿泊客は最近、大飯発電所の定検工事関係者が入っているが、東西三松、畑、蘭部地区を中心に激減。

◎再稼働について主だった行動は出来ないが、今は我慢の時期と考えている。一刻も早い再稼働をしていただきたい。

#### 高浜町商工会会長

◎高浜町の景気状況について本年

9月初旬に関連事業者との取引(間接取引を含む)がある企業30社をヒアリングした結果、前年同月(8月)の売上との比較は売上高減少企業15社(平均24%減)今後の資金繰りに関しては、厳しくなる(13社(43%)、非常に厳しい(9社(30%))。

◎ゼロ金利借入利用の状況は、平成24年度は6件、3400万円であったが、現在、20件、1億6000万円である。内設備投資などの借入は1800万円で新たな事業への投資は少ない。  
◎企業メンテナンス、防災工事など多少は動きがあるが、再稼働がないと人の流れが止まり小売などは厳しい状況。

#### 委員からの意見

◎プレミアム商品券などの経済対策は、時代の流れを読みながら、補正を組み1~2年続けるべき。  
◎高浜町が支援をし、企業が出資しメガソーラーに取り組んでは。  
◎補助金獲得など企業が簡単に取組める支援が必要。  
◎経済低迷による将来不安から児童にし寄せが来るので充実した相談事業を。  
◎町・商工会が把握している情報をいかに企業に伝えるが必要。

### 地域医療・福祉問題調査特別委員会

委員長 廣瀬とし子

少子化が進む中、国の支援方法も多様化している。児童虐待、育児放棄の事例も多く報告されている。その要因として家庭において養育不安、経済的不安等色々の不安材料に起因すると言われている。地域だけで解決できる問題でなく、常日頃の隣近所の協力が必要とされる問題である。

今回、嶺南振興局敦賀児童相談所視察を行った。

所長・課長・福祉士・心理士・看護師出席のもと、児童相談所業務概要、施設等を見学して説明を受け、その後、意見交換を行った。児童相談所は、必要に応じ、児童を一時保護する施設を設けなければならぬ。平成25年4月1日現在、全国207カ所のうち一時保護所設置児童相談所は128カ所である。

当所は、相談判定課、総務課からなり、嶺南全域を所管としている。一時保護所の定員15名、現在保護児童は2名である。

### 若狭消防組合議会

組合議員 勝本 繁昭

#### 第162回臨時会

・日程 6月27日  
・場所 若狭消防組合議会議場

第162回臨時会が6月27日の日程一日会期として議会議場に於いて開会され今回は本組合議会議員の任期満了や辞職に伴い、議長、副議長の選挙が行なわれ、議長に小浜市会議員の三木尚氏、副議長に小浜市会議員の今川直樹氏が選出された後に本議会が開会された。

#### 【審議事項】

●議案第1号  
若狭消防組合職員の臨時特例に関する条例の制定  
【賛成多数で可決】

#### 【議案第2号】

若狭消防組合監査委員の選任につき同意を求めること  
【全員賛成で同意】

### 鳥獣害対策特別委員会

委員長 井ノ元康夫

今回の委員会では、「捕獲檻の現状と今後の対策」について高浜町のイノシシ捕獲檻の設置状況と捕獲頭数の前年対比、今年度の月別推移について担当課から説明を受け対策について意見聴取した。

檻の設置状況では、本町には現在45基の檻が設置済みで、青郷・内浦地区での設置が大半で高浜・和田地区の捕獲檻が少ない事、捕獲頭数は現時点で、前年に比べ2倍~3倍の捕獲が予想される事、檻の場所によって捕獲頭数に差がある事が説明と資料で確認出来た。

委員からは青郷、内浦地区には狩猟免許取得者が多数で、檻も多く設置出来ることから捕獲頭数の差が出ている。高浜、和田地区にも檻を増設出来ないのか。また捕獲頭数の少ない檻は、設置場所の移動は出来ないのか。エサを変更することで捕獲頭数は上がらないのか。などの質問があり担当課からは檻設置の要望があるが、狩猟免許を所持された方が周辺におられない為迅速な対応が出来ない現



委員長よりイノシシ捕獲状況の説明

状である。多く捕獲する区は、檻設置者と集落が協力されている。エサについては乾燥トウモロコシを使うなど捕獲頭数を上げている区もある。今後も各団体と連携し被害を減らす為に、狩猟免許取得の助成と指導をして捕獲檻を増やして行く。  
「今後の対策については、猟友会会員の方が乾燥トウモロコシを使い餌付けを行い、電磁石を使い捕獲するまでの一連の流れを暗視カメラで録画された映像を見てイノシシの習性と捕獲作業について意見交換を行った。

#### 相談機能

18歳未満の児童の福祉に関するあらゆる相談を受け、専門的な調査・診断・判定を行う。  
特に児童虐待の疑いがある通告、相談の場合は24時間以内に子ども

の安全確認等の対応を行う。  
また、相談支援に係る各種事業として、家族療法推進事業・ひきこもり等児童宿泊指導事業・法的対応相談事業を行う。

■一時保護機能  
緊急保護(迷子、虐待等により適当な保護者や宿所がないために保護する。行動観察(生活指導を行う必要がある場合。短期入所指導(短期間の生活指導、心理療法等が必要な場合。緊急保護時の場合。敦賀では距離がある、小浜市に検討してはどうか。



敦賀児童相談所での視察

**ぜひ! 議会の傍聴にお越しく下さい**

事前予約は不要です。当日お越しただけで傍聴できます。  
次回定例会は12月です。お待ちしております。

高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710

議会をチエツクするのはあなたです

町議会

# 出前報告会



批判や意見、提言など  
自由なご意見をお聞かせください。

## 皆さんの声を 町政に！

11月5日(火)午後7時30分  
(2会場同時開催)

- 高浜地区(文化会館小ホール)
- 内浦地区(内浦公民館会議室)

11月8日(金)午後7時30分  
(2会場同時開催)

- 和田地区(保健福祉センター大広間)
- 青郷地区(青郷公民館)

※どの会場でも自由に参加ください。

今回の  
テーマ

議会だよりを参考に、町民の皆様の町政に対する  
ご意見を伺います。

### 編集後記

大型の台風18号の影響で、気象災害が懸念されました。福井県で初の特別警報が発表され、緊張の一日でした。

被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。幸いにも当町内の被災は軽傷であり、災害にも強く、安心に暮らすことが出来る地域であると、実感しています。

9月定例会は決算認定の審議を慎重に行いました。新年度予算策定に向けた質疑が多くありました。

議会でも町民の生命・財産を守り安全に安心して暮らせるまちづくりに取り組んで参ります。

11月には、議会出前報告会を計画しています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

文責 勝本 繁昭

広報特別委員会

委員長 大塚ひとみ

副委員長 井ノ元康夫

委員 清常 光洋

〃 磯部 武史

〃 小幡 憲仁

〃 勝本 繁昭